



Close up

*青年部道外研修を終えて

2011.

3
MARCH

No.015

青年部道外研修を終えて

青年部副部長 山内道治

平成19年6月より約7年ぶりに青年部員による積立が開始され、今回3年半の月日が経ち平成23年1月18～23日の4泊6日でハワイへ行き先が決定、参加部員12名での研修が行われました。

今回の研修先、ハワイ群島の一つマウイ島は、ワイキキのあるオアフ島とは違い、サトウキビ畑の広がるのどかな農業地帯とりゾートの島で、北東部に位置する、ハイク地区、マカワオ地区、プカラニ地区に属する3つの圃場を見学、昭栄の佐藤誠一さんが以前マウイ島での農業研修で、お世話になった——F A (International farmers aid association) 理事長福田晃さんの紹介により決まりました。

当曰は福田さんと、その友人のハワイ大学所属で、農業技術の普及活動を行っている方を含めての訪問となりました。

販売価格は、20kgで約7000～8000円の高値で取引されておりますが、気象条件、病害虫の発生など収量やコスト面を踏まえると、この価格での販売でなければ収入としては厳しいとのことでした。

2件目は、バナナ、ハーブ、オニオン等を作付しており、フィリピンからの研修を契機にこの島に就農したのですが、50ha（約20ha）の規模で経営している。

起伏し豊かな農場で、パインツリーは時期をずらして150万本ずつ定植、18ヶ月で収穫し通年で販売、出荷先はハワイ80%、アメリカ20%で日本にも少量を輸出しています。

1件目は、玉ねぎとキュウリ

の栽培農家へ、今回は玉ねぎ畑を視察、マイオニオントとして有名で、播種から収穫までは80～100日を要します。7～8月の暑い時期を避けてほぼ一年中作付しております。

また、農地は自作地ではなく、すべて州政府から借りておいて個人経営での売買は難しいとの事でした。

3件目は、パインツブル農場を見学、これはマウイゴーラードの内で出荷している会社で、21年に元の会社が経営不振で農場を閉鎖することになり、従業員幹部6人が農場を借り入れて始めたのです。

起伏し豊かな農場で、パインツリーは時期をずらして150万本ずつ定植、18ヶ月で収穫し通年で販売、出荷先はハワイ80%、アメリカ20%で日本にも少量を輸出しています。

状況となりました。





3月号CONTENTS

表紙	1
Close up	2
21NEWSアラカルト	4
契約栽培奨励事業	7
農産部通信	8
宮農部通信	11
畜産部通信	12
インタビュー	14
理事会の動き	14
編集後記	14



表紙

2月28日(月)、今年1月より就農された信取地区の高嶋紳一さん一家を訪問しました。

写真後列左より高嶋紳一さん、奥様の輝美さん。前列左より長女の桃花ちゃん(7歳)、航希くん(4歳)。高嶋さんインタビューは14ページに掲載しております。



農場は広く、バスで移動し定植作業中の圃場を見学、作業はパートによる手作業で行っており、定植数に応じ給料を支払っているそうです。その後は選果施設へ、そこでは実際に収穫されたばかりのマウイゴールドを食べることができ、とてもとても甘くみずみずしいパインはみんなで、どのくらい食べたか分からないくらいほぼりました。すべての内容が終了後、企画していただいた福田さんが別れ際に「頭を良く使え、ビジネスチャンスは至る所にある」という言葉を私たちに掛け、アメリカンドリームの國らしく印象に残りました。



以上で簡単ではありますが研修報告とさせて頂きます。



マウイ島紹介

アメリカ合衆国ハワイ州の島で、2番目に大きい島となります。マウイ島、モロカイ島、ラナイ島、カホオラウエ島の4島で構成されるマウイ郡の中心であり、郡全体の人口は128,094人、そのうち約9割の人口がマウイ島に集中、人口はオアフ島、ハワイ島に次ぎ州内3番目に多い。



アメリカ農業豆知識

アメリカでは、農業の普及活動や試験場など、各州大学が国の補助を受け、博士号を持つ専門家が直接農家へ指導及び試験、研究活動を行っている。独立13州時代からの制度。



あか牛部会

婦人研修会 を開催



2月15日・16日にあかん悠久の里 鶴雅にて、あか牛部会婦人研修会が開催されました（写真）。

NOSAIの矢野獣医師に講師をして頂き、講師を健康に育成させるためのポイントとして、初乳の与え方・スターターの役割や給与法の説明をして頂き、どう与えるのがよいのか写真やグラフを使って詳しく教えて頂きました。

生産者の方にも大変好評で、わかりやすくとても充実した研修会となりました。

今後の子牛の育成に役立て、不明な点があれば巡回時に獣医師さんに質問等してみてください。その後、懇親会を行い交流を深めました。

（記事・畜産部畜産課 豊原英梨）



女性部

組合長との 懇談会を 開催

2月18日（金）、女性部では組合長・常務との懇談会を実施しました（写真）。

当日は三役及び支部長が出席し、始めに営農部・川村部長より23年度より実施される戸別所得補償制度についての説明会がありました。2月1日に組合員を対象とした説明会を行っていますが、なかなか女性の参加は少なく、今回は大変良い機会となりました。

説明会終了後、組合長・常務を囲んでの懇談会となり、始めに組合長より農協の取り組みについての説明・常務より農協の通信簿についての説明がされました。その後、農協に対する要望・意見など活発に発言があり、今後も継続的に実施して行きたいと思います。

（記事・営農部営農課 山岸真美）

21NEWS アラカルト



銀河線ブロック農協青年部冬期研修会



今日のニュース

- ▶あか牛部会
婦人研修会を開催
- ▶女性部
組合長との懇談会を開催
- ▶青年部
青年部学習会を開催
- ▶女性部
カラーコーディネート講習会を開催
- ▶青年部
銀河線ブロック農協青年部冬期研修会

青年部

青年部学習会 を開催

2月8日・9日と2日間にかけて青年部を対象とした学習会を開催しました(写真)。14時から3時間の中で3つのテーマについて、JA職員及び農協連職員が講師となり行いました。

青年部事業では研修会が年間3回開催されていますが、このような形態は初めてで、JAと青年部の連携、職員との交流、さらにはJA事業への理解などを目的に、青年部役員と協力しながら開催にこぎつけました。

初日は22名、2日目は24名と部員もアルバイト等忙しい時期でしたが、半分以上の出席となりました。

内容も、農薬の基礎知識や土壤診断の見方の説明、営農計画書作成について、組勘データを利用した経営分析システムを紹介、営農計画の必要性を伝える等、農業における基本となる部分の復習の意味も含めた話となりました。また、青年部と農協連で行った「堆肥にポーン」の試験成績発表があり、気象の影響で理想的な結果とならなかった圃場もあったのですが、成果もあり、経営において少しでもプラス



になるよう、この取組は次年度も継続していかなければと考えております。

終了後には、組合長や常務又今回携わった職員、部員との懇親会を開催、青年部を対象としそうな場を設けたのも初めてで、最初は多少緊張感がありましたが、時間が経過し徐々になれていく最後には部員一人一人が、組合長への要望や意見、今回の感想を述べてもらい2時間の会は終了しました。

今回をきっかけに、青年部とJAが積極的に接する機会を設け、知識向上、お互いがレベルアップを図る良い関係を構築していきたいと考えております。

次回は3月に組合長、常務と新役員との懇談会を予定しています。
(記事・営農部営農課 榎木和也)



学習会内容

1日目	GAPについて	土壤診断の見方について	農薬の基礎知識について
2日目	営農計画書作成について	資料取りまとめについて	堆肥にポーン試験成績について

女性部

カラーコーディネート 講習会を開催

2月10日（木）に、女性部ではカラーコーディネート講習会を開催しました（写真）。今回パーソナルカラーリストの波佐由里子氏に講演を依頼し、当日は50名もの部員が参加しました。

講演は色から受ける心理効果のお話や、自分に合う色を見つけるパーソナルカラー診断を行いました。普段は一人1時間半ほどかけて診断を行うもので、



今回は大人数の為、二人の方に実際に診断してもらいました。同じトーンの色の中でもいろいろな種類の色があって、人によっては似合う色と似合わない色が一目瞭然で分かり、皆さん大変興味津々でした。



人の印象は5秒で決まるとのこと。自分に合った色を身につけることで、若々しく、元気でいれるそうです。今回の講習受けて自分の生活の中にも是非取り入れて頂きたいと思います。



（記事・営農部営農課 山岸真美）

青年部

銀河線ブロック 農協青年部 冬期研修会

2月2日、池田町西部コミュニティセンターにて銀河線ブロック冬期研修会が開催されました（写真）。

講師には、農業試験場生産システムグループより白井主査と農業協同組合連合会企画室より鰐場室長の御二方をお招きし、「組勘データ見える化する



ツール」「生産費を計測する意義」について講義を受けました。

管理ツールの概要是組勘データをシートに貼り付けるだけで、摘要コード毎に取引額を自動集計し資金の流れを自動出力・計算するというものです。これにより自身の経営内容を分かり易くし、改善に向けた手立てを整理出来ます。確かに経営全てに目を向けるのは大変で、ポイントが整理されれば内容改善に取り組みやすいと思いました。

近年の農業情勢は厳しさを増すばかりで更なる経営対策は必須だと思います。ツールを利用して自身の経営を見直して行きたいと思いました。（記事・青年部員 野村悦郎）

契約栽培奨励事業（特定農産物）が終了

平成19年度から開始された、
契約栽培奨励事業（特定農産物
产地構造改革対策事業）につい
て、3カ年事業の最終年（21年
産契約栽培奨励金の交付は1年
のズレがあるため）となりまし
た。

この事業は、中央果実生産出
荷安定基金協会が造成する基金
を利用して、畑作地帯重要品目
(品目横断的経営安定対策対象
外の品目)である小豆、金時、
大手亡など、産地の構造改革のた
め契約栽培取引を推進し、需給
安定及び産地の体質強化のため
に対策された事業です。

契約栽培奨励金の交付単価は、
契約数量（造り数量）が対象と
なり、初年度は1,000円／60
kg、2年目は750円／60kg、
3年目は500円／60kgが交付
されました。

当JAは、契約栽培について
は、従前からのコーナーとの契
約栽培の取組もあり、ユーザー

の協力や、ホクレンからの働き掛け
もあり、契約栽培
数量は10千俵台を
維持し、交付単価
は年々低下しまし
たが、事業期間と
なる3年間で、対
象契約数量は約4
万俵、交付総額で
約30百万円を、契
約栽培生産者や農
協入庫生産者に配
分させて頂きまし
た。

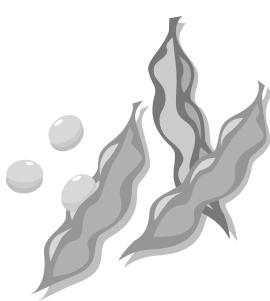
今後も、組合員
生産者にとってメ
リットのある事業
がありましたら取
り組んで参りたい
と考えております。
尚、皆様へのお
支払は、平成23年
2月28日に交付致
しました。

契約栽培奨励事業奨励金額の実績（JA実績）

年 度	契約数量 (俵)	交付単価 (円/俵)	小豆類 (千円)	金時類 (千円)	大手亡 (千円)	計 (千円)
19 年 度	15,418	1,000	7,279	4,521	3,618	15,418
20 年 度	12,893	750	4,685	2,628	2,357	9,670
21 年 度	11,399	500	2,958	1,470	1,272	5,700
3カ年合計	39,710	—	14,922	8,619	7,247	30,788

※契約数量は、ユーザー（流通者含む）との契約数量

同時に実施された、作物転換
支援事業は、豆類の作付を削減
した面積に対し、当該年度の
み31000円／10aの支援助
成を受け作付転換を行います。
従つて、この事業に参加した
生産者につきましては、平成20
年から平成28年まで、削減した
面積を上回ってはならず、上回っ
た場合、支援助成金の返還が求
められます。



作物転換支援事業助成金の実績

年 度	小 豆	金 時	大手亡	計	助 成 額
19 年 度	349a	208a	20a	577a	1,789千円
20 年 度	293a	160a	327a	780a	2,418千円
21 年 度	46a	—	124a	170a	527千円

農産部通信 農産部 農産課・施設課

►ダイエー店頭販売報告

◇食用馬鈴薯生産組合 村瀬 敬

2月11日から13日にかけて、ダイエーで実施した農産物の店頭販売に参加しました。

関東班は、新浦安店と市川コルトンプラザ店の2班に別れて行いました。私は市川店の方へ行きました。開店1時間前でしたが多くの店員が準備に追われていました。私達も池田の農産物を確認し、開店の準備に入りました。芋団子の試食を出すのも、最初は崩れたり、くっついたり、焼きすぎたりして思うようにいかず大変でしたが、ダイエーが用意してくれたマネキンさんが応援してくれることになり、試食はマネキンさんに任せ、西垣さんと二人で呼び込みに回りました。棚には、男爵、メークインと私の生産したホッカイコガネが並んでおり、10個前後が1袋になって売られていました。圃場で見るのとは違い大変立派に見えたので、農産センターに運んだ芋の何パーセントがこうして棚に乗っているのかと心配しつつお客様に声を掛けていました。

お客様からは「池田の芋の売りは何ですか」という質問も受け、減々栽培の取組について説明をしました。今は同じようなものがたくさんあり、東京という巨大胃袋でも、もっともっと池田をアピールできるモノがなくてはならないと感じた次第です。棚の芋も途中追加され、私の生産した芋も隅のほうにわずかとなりました。試食の団子も配布するチラシも最後はセーブするほど反応が良かったです。関東のダイエー店からは「芋のメインは池田町のすこやか男爵」と言されました。また、生産者自ら来てくれることに感謝され、もっと沢山作って送ってほしいと言われました。

ダイエーで売られている芋の殆どが池田のモノであるのを間近で見て、供給責任の重さを感じました。今回の店頭販売はいい経験と勉強になりました。みなさんも是非参加してください。



◇玉ねぎ部会 十河耕大

2月12日、ダイエー三宮店（兵庫県）で池田町農産物のPR販売を行ってきました。

ダイエーの店頭には沢山の商品がある中、池田町産の玉ねぎ、メークイン、男爵、長いもが並んでおり、そこでPRパンフレットとPR用に作ったもだんごを持って販売促進を行いました。

野菜を買い物に来た方々に「いつも買わせてもらっている」「美味しいから買っている」という意見を多数いただきました。しかし、中には「北海道の玉ねぎって固い」「あまり買わない」などの意見もあり、やはり生産者や販売する側にもより一層の努力が必要なのだと思います。



その後のバイヤーさんとの会食では消費の動向や販売努力等のお話を聞かせていただきました。普段、僕らは作物を作っても農協に出荷するまで販売に携わる機会は少なく、今回は販売側のお話や消費者の意見や感想等を直に聞くことができ、貴重な体験となりました。こういう活動を通して生産者が販売店や消費者と関わりを持つことによって、池田町のことをもっと多くの方々に知って頂けたら幸いだと思いました。

►ネバリスター店頭販売報告

◇長いも部会 榛沢 達也

去る、2月5日にネバリスターの試食販売を札幌市の東光ストアー豊平店、平岡店の2店舗で行って参りました。

当日は270gの真空パック詰めで298円というかなり高めの値段設定がされており、隣の棚には道産のグラム38円という安い長芋があり正直この値段の差でお客様に買って貰えるのか非常に不安を感じました。しかし商品自体には絶対の自信を持って店頭に立ち試食をしてもらうと、お客様のほぼ全員が「粘りがあって美味しい」「こくが



あって旨い」といった高評価を頂きました。その後好調に売れ続け午後2時前に売り切れてしまうという嬉しいハピニングもあり、急遽商品を補充して販売を続けました。

商品の特性上見た目での違いがお客様にわかりづらいので、いかに食べて違いを感じてもらうかが大事だということがよくわかりました。前日の㈱ワタリとの打合せでも、新しい物を売っていくのは非常に大変だということ、そのためには仲卸、小売り、生産者の全てが売る努力をしなければならないと話をされましたし、今後も長芋部会での販促活動も力を入れてやるべきだと思いました。

►施設見学会開催

今年度の施設見学会（第3弾）においては、「平成20年度強い農業づくり事業」で建設いたしました新施設「穀類調製貯蔵施設」を2月9日に見学頂きました。当日は大変冷え込んだ日でありましたが参加された組合員様に豆や小麦の受入から調製工程と調整される機械の説明を行い普段は組合員が入らない施設のため、又新しい機械等が設置されており熱心に聞いたり質問も数多くされました。今回は自動的に製品を「はい積」するパレタイズロボット（写真左）について興味心身に見学されておりました。見学終了後は事務所2階において冷えた体を温めて頂くためお茶や地場産小豆を使用した「お汁粉」を食べながら懇談（写真右）も含め意義ある見学会で終了致しました。



農産部通信 農産部 農産課・施設課

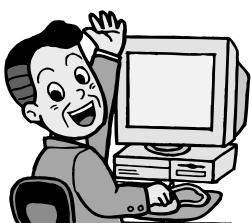
▶指導チームでマッピングシステム活用中！

平成23年2月21日、23日～25日の計4日間、指導チーム主催でマッピングシステムを利用した施肥相談会を実施しました。昨年の12月までに土壤診断を申し込みされた方の中で全ての土壤診断が完了した方を優先して、施肥相談会にご来所願いました。案内文書が届いていない方は、3月に実施する施肥相談会に来て頂けるようご案内しますので、ぜひご活用願います。

マッピングシステムを利用した施肥相談は今回が初の試みで、機械トラブルなど多少ございましたが、操作に慣れてくると数多くの系統肥料の中から効率よく圃場に適した肥料銘柄と施肥量を探し出すことができ、なかなか良いシステムだと感じました。（系統肥料をご利用いただいている方には、かなりの優れものです！）

計4日間の実施でパソコンは3台設置し延べ36名の方にご来所頂きました。多少順番待ちでお待たせする場面もございましたが、大きなトラブルもなく、今後はシステムの改善等を要望し更に使いやすい形に進化させて行きたいと考えています。マッピングシステムは、生産資材課、農産課、営農部に各1台ずつ設置されていますので、急いで施肥相談が必要な方はご利用ください。

土壤診断を行うことにより、pH調整の必要な圃場、カリが過剰でカリ減肥料が利用できる圃場などが一目瞭然で解ります。施肥相談をしてみると「今まで通りの施肥で大正解」という方がいらっしゃると思えば、「カリ減肥料の使用が可能です」と診断された方、中には「リン酸が明らかに不足しています、単肥で補いましょう」と診断された方など様々でした。土壤診断って大切なんだなと改めて痛感しました、生産者の皆様、施肥相談は積極的に活用してください。



マッピングシステムは他にも圃場の位置管理を農業共済組合と共有したり、小麦集団で使用する圃場地図の作成に活用しています。また、ご自身の圃場地図を配布することも可能です。今後も土壤診断などのデータの蓄積を行い有効活用に取り組んでまいりますのでご協力ををお願いいたします。

▶ビート播種作業始まる

3月に入り、雪解けも進み春が一步ずつ近づく中、ビート移植用の播種作業が始まりました。

今回は利別地区の宇高さんのハウスにお邪魔しました。

健苗育成のポイント（再チェック）

- ①床面に水分を与え、ハウス内の温度を上げて起きましょう。
- ②播種後の灌水は10㍑/冊とし、暖かい日の午前中にペーパーポットに十分浸透させてください。
- ③温度管理の徹底。

これから、農作業が本格的に開始されますので、事故には十分注意願います。



営農部通信

営農部
営農課

▶一般廃棄物最終処分場 「うめ～るセンター美加登」を見学しました

十勝環境複合事務組合（組合長・米沢則寿帯広市長）の一般廃棄物最終処分場「うめ～るセンター美加登」が完成しましたので、2月23日に十勝高島農協の役員と合同で施設の見学会を開催しました。

屋根付きとしては国内最大規模となるこの施設は、管内の不燃ゴミ、可燃ゴミの焼却灰、下水処理施設からの沈砂などを埋

め立てることになつており、埋め立て期間を15



年間と予定しております。幅90m×長さ304mの大きさは圧巻です。深さ15m、地上部が高さ23mで、施設の底面、側面には遮水シート、保護マットが設置されています。建設費は35億7000万円で平成23年4月1日から供用開始予定となっています。



▶農業者戸別所得補償制度導入に係る説明会を開催

2月1日、平成23年度から開始される「農業者戸別所得補償制度」につ

いての説明会が農協本所大會議室にて開催されました。

当日は組合員、町の職員、農協職員合わせて80名が参加し、JA北海道中央会帯広支所主幹の片田英隆氏により、農業者戸別所得補償制度と今後の課題についての説明があり、参加した組合員は熱心に耳を傾けていました。



▶TPP反対へ懸垂幕を掲げました

JAグループ北海道が作成した環太平洋経済連携協定（TPP）参加反対を求める大懸垂幕を農協事務所南側壁面に掲げました。「北海道、農業・経済・生活を守れ！ TPP参加反対！」と訴えております。

また先般お願いした「TPP交渉参加反対1千万署名全国運動」の取り組みでは、組合員皆様及び職員の協力によりまして、2月末現在で約1200人分の署名が集まつてあり、3月2日に第1次の報告を行いました。大変ありがとうございます。

この運動は4月下旬まで取り組んでおりますので、まだ署名用紙を提出されていない方は営農部まで提出くださるようご協力をお願い致します。





畜産部通信

畜産部
畜産課

1月家畜市場成績（ホクレン十勝市場・十勝中央家畜市場開催分）

肉牛市場上位5傑（去勢）

【体重(kg)・金額(円)】

1月17・18日	父	母の父	母の祖父	日令	体重	価格(税込)	kg単価	日令単価	D G
1	勝忠平	安平	福茂	274	304	581,700	1,913	2,123	1.00
2	平茂晴	平茂勝	安平	279	322	574,350	1,784	2,059	1.05
3	勝忠平	安平	隆美	250	311	568,050	1,827	2,272	1.12
4	北平安	平茂勝	福桜(宮崎)	307	318	561,750	1,767	1,830	0.94
5	勝忠平	北国7の8	安平	270	299	549,150	1,837	2,034	1.00
全 体	十勝	平均		281	302	481,676	1,597	1,733	0.98
	J A十勝池田町	平均		285	295	480,868	1,624	1,711	0.94
十勝最高	天保院斗	福桜(宮崎)	安平	240	298	623,700	2,093	2,599	1.12

肉牛市場上位5傑（メス）

【体重(kg)・金額(円)】

1月17・18日	父	母の父	母の祖父	日令	体重	価格(税込)	kg単価	日令単価	D G
1	第1花国	第20平茂	神高福	287	305	542,850	1,780	1,891	0.97
2	勝忠平	第5隼福	北国7の8	298	304	540,750	1,779	1,815	0.93
3	安平照	平茂勝	福桜(宮崎)	295	294	488,250	1,661	1,655	0.90
4	安平照	平茂勝	福桜(宮崎)	303	324	446,250	1,377	1,473	0.98
5	安福勝	平茂勝	茂重桜	285	315	418,950	1,330	1,470	1.00
全 体	十勝	平均		296	287	402,514	1,401	1,369	0.88
	J A十勝池田町	平均		292	286	391,500	1,373	1,347	0.89
十勝最高	花清国	福之国	安平	294	322	719,250	2,234	2,446	1.10

主要種雄牛別成績（去勢）【金額(円)】

	種雄牛	取引頭数	平均価格(税込)
1	北平安	56	475,088
2	安茂勝	47	481,034
3	百合茂	43	514,402
4	茂勝栄	39	468,731
5	福安照	34	479,325

主要種雄牛別成績（メス）【金額(円)】

	種雄牛	取引頭数	平均価格(税込)
1	安茂勝	57	374,776
2	平茂晴	41	419,770
3	安福久	31	548,845
4	百合茂	30	417,760
5	北平安	26	406,754

F1・育成・乳牛市場 【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
1月7日	乳牛育成	472	257,624
1月19日	F1去勢	1,104	335,274
1月20日	F1メス	1,100	271,580
1月25日	乳牛初妊	670	602,653
1月26日	乳牛経産	185	369,645

枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
1月15日	黒毛去勢	A-5	2,026
		A-4	1,818
		A-3	1,556
	黒毛メス	A-5	2,147
		A-4	1,746
		A-3	1,529
F1去勢	B-3	1,388	
	B-2	1,080	
	B-3	-	
	B-2	1,039	

十勝中央家畜市場 【金額(円)】

開催月	区分	価格(税込)
1月	乳牛才ス初生	45,512
	F1才ス初生	155,101
	F1メス初生	96,142

▶H23ホクレン十勝市場の開催日程について

平成23年度ホクレン十勝地区家畜市場開催日程が決定致しましたので、下記の通りお知らせ致します。

※セリ順については、農協毎に区別した場合の順番（ローテーション）となります。

肉牛（和牛）

	開催1日目	セリ順	開催2日目	セリ順
4月	12日(火)	5番目	13日(水)	
5月	17日(火)		18日(水)	12番目
6月	14日(火)	4番目	15日(水)	
7月	13日(水)		14日(木)	9番目
8月	17日(水)	13番目	18日(木)	
9月	13日(火)		14日(水)	4番目
10月	18日(火)	9番目	19日(水)	
11月	14日(月)		15日(火)	3番目
12月	13日(火)	3番目	14日(水)	
1月	16日(月)		17日(火)	7番目
2月	13日(月)	11番目	14日(火)	
3月	12日(月)		13日(火)	7番目

育成

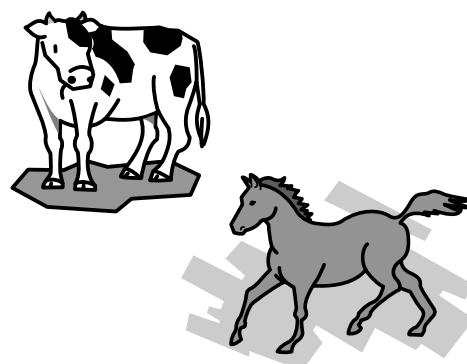
	開催目	セリ順
4月	4日(月)	23番目
5月	9日(月)	12番目
6月	6日(月)	18番目
7月	4日(月)	1番目
8月	4日(木)	14番目
9月	5日(月)	8番目
10月	3日(月)	21番目
11月	7日(月)	7番目
12月	1日(木)	17番目
1月	11日(水)	3番目
2月	1日(水)	16番目
3月	5日(月)	9番目

乳牛

	乳牛①	セリ順	乳牛②	セリ順
4月	7日(木)	16番目	21日(木)	7番目
5月	12日(木)	22番目	26日(木)	10番目
6月	8日(水)	18番目		
7月	6日(水)	3番目		
8月	24日(水)	22番目		
9月	7日(水)	5番目	22日(木)	14番目
10月	11日(火)	18番目	27日(木)	12番目
11月	9日(水)	18番目	24日(木)	11番目
12月	6日(火)		7日(水)	1番目
1月	24日(火)	10番目	25日(水)	
2月	7日(火)	1番目	21日(火)	10番目
3月	7日(水)	23番目	23日(金)	5番目

馬

	開催目
6月	1日(水)
8月	31日(水)
9月	1日(木)
11月	1日(火)
3月	1日(木)



理事会の動き

第12回
〈平成23年2月25日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入及び脱退について
- (2) 平成23年度新規採用内定者について
- (3) 組合財務の現況について
- (4) 共計品の精算について

★ 議 案 ★

- (1) 組合員の資格変動承認願いについて
- (2) 相続による持分譲渡と新規加入承認願いについて
- (3) 平成23年産てん菜作付確保緊急対策及び平成23年産原料てん菜作付面積緊急糖業助成事業の実施について
- (4) 平成22年度決算見通しと剩余金処分方針について
- (5) 職員に対する年度末手当の支給について
- (6) 平成23年度役員報酬額の答申について
- (7) 平成23年度事業計画の設定について
- (8) 地区懇談会の顛末とその対応について
- (9) 理事の組合員勘定取引供給限度額の設定について
- (10) 学経理事候補者の選出について

★ 協 議 案 ★

- (1) 第22回通常総会の開催日程について

インタビュー



高嶋紳一さん
(39歳)

家族構成

妻 輝美さん (41歳)
 長女 桃花ちゃん (7歳)
 長男 航希くん (4歳)

経営形態

黒毛和種の繁殖経営

Q なぜ、就農しようと思いましたか？

A 元の職業の将来性に悲観して、別の職業を探し、この就農にたどりつきました。

Q 実際仕事をされてみて大変なことは何ですか？

A わかっていたけれど、家をあけて長時間外出しづらいこと。

Q 良かったと思うことは何ですか？

A 面白く、没頭できる新しい仕事が見つかったこと。

Q 息抜きは何ですか？

A 読書・テレビ・子どもの成長

Q 将来の夢は何ですか？

A 繁殖頭数60頭で質の高い揃った繁殖牛群を持つこと。

3月3日は、ひなまつり。ですが今年は「高校入学試験日」もありました。入試なんて何年前だろう…と考えるのが年を重ねた証拠だと感じました。私は入試直前に予防接種をしたにも関わらず、インフルエンザになり、保健室受験でした(笑)。上がり症の私ですが、保健室の先生とお喋りをしリラックスして受験した記憶が蘇りました。そんな私も最近、脳を活性化させるために中学校の数学を勉強しています!なかなか記憶を辿っても思い出せずページは一向に進めませんが、たまに勉強するのも気持ちがいいものですよ♪(Y)

